

水のおかげ

「捕まえた！」
大きな声が聞こえた。私は急いで、兄が居る場所へ走って行く。服が水にぬれることなんか、頭のどこにも入っていない。兄が持っている網の中をのぞくと、キラキラと輝く大きな魚がいた。私は生まれて初めて、こんなに美しい魚を見た。「オイカワ」というらしい。夏休みの宿題、自由研究をするために「秋野川」に行った。秋野川は私が住む、下市町を流れる川だ。父と兄と私の三人で、朝の九時から十二時のサイレンがなるまで、ガサガサが続く。ちなみにガサガサとは、魚がかくれているような場所に網をセツトし、草や石を手や足でガサガサし、網におびきよせて魚を捕る方法のことだ。秋野川には、たくさんの魚たちが住んでいる。その中で、私のお気に入りの魚がいる。それは「オイカワ」だ。

下市町立下市中学校 三年

堀之内 菜七

オイカワは、泳ぐのがとても速い。私は泳ぐことが大好きなので、とてももうらやましい。婚姻色のオイカワは、もっと好きだ。普通の魚とは違って輝いている。とてもかっこいい。そんなオイカワが、私は大好きだ。他にも好きな魚がいる。アブラハヤ、とても簡単に捕まえられる。ギギ、ひげがかわいくて、鳴き声もすごくかっこいい。この二種類の魚はどちらも、奈良県の希少種となっている。ムギツクやヌマムツもそうだ。少なくなっているのには、理由が二つある。一つ目は河川の護岸工事による、自然破壊。これは大雨や台風などにより川が氾濫し、家が流されたり、人が犠牲になることを防ぐためだ。これからは、生活と自然保護を両立させる方法を考えるべきだと思う。二つ目は、河川の汚染が原因だ。家庭から排出する生活用水が

水質汚染の一番の原因で約七割を占めているらしい。家庭の排水には注意と工夫が必要だ。米のとき汁はそのまま流すのではなく、植木などの植物に散布する。石けんやシャンプーの使用量を極力少なくする。歯磨きの間は、水を止めるなどの方法がある。周りの環境を意識して、水を汚さない様に心を配ることが大切だと思う。より多くの人々が水質汚染対策に取り組めば、きつと効果があらわれるはずだ。そして、秋野川にいる魚たちを守っていかなければならない。

秋野川にいる魚や鳥などのたくさんの生物が元気でいられるのは、水がきれいだからだ。私が普通に楽しんでいることでも、たくさんの人が自然を守ってくれているからこそできていると思う。地域の人や山を守ってくれている人たちに感謝して、美しい自然を守っていききたい。そして、今年も来年も、できる限りガサガサを続けていききたい。

いつか、自分の子どもや孫たちとガサガサを楽しむことができるように、水のきれいな秋野川を地域の人とともに守り続けていききたい。